第１学年　道徳科学習指導案

１　主題名　「ごまかしをしないで」　　【Ａ−２正直，誠実】

２　教材名　「なわとびカード」　（出典「きみがいちばんひかるとき　どうとく１年」光村図書）

３　主題設定の理由

（１）ねらいとする価値について

うそやごまかしをせず，自分の気持ちを偽らないでいることは，他者の信頼を失うことなく社会生活を送るためだけでなく，自分が自分らしく生き生きと生活していくためにも大切なことである。学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」では，正直・誠実の指導の観点について「指導に当たっては，うそやごまかしをしないで明るい心で楽しく生活することの大切さを押さえておくことは，児童が成長の過程で健康的な自己像を確立していくためにも大切なことである。」と明記されている。

そこで，本時では，自分の過ちを認め，改めていく素直さとともに，あらゆる物事に対してまっすぐに向き合おうとする姿勢や，明るく気持ちよく生活しようとする実践意欲を育みたい。

（２）児童の実態

本学級では，正直に話したり誠実な行動をしたりするのはよいことであるという認識をもっている児童が多数である。しかし，時と場合によっては，それができなくなってしまう児童も少なくない。自分にとって都合が悪くなってしまうときや自分が得をしたいときなどには，うそをついたり，ごまかしたりしてしまう姿が見受けられる。

本時を通して，正直にできない人間の弱さにも目を向けさせながら，他者にも自分にもうそやごまかしをせず，毎日を気持ちよく過ごしていこうとする態度を育てたい。

（３）教材について

主人公の「わたし」が，縄跳びの跳べた回数をごまかして合格にしてしまおうか，それとも正直に言って不合格とするか心が揺れる葛藤場面が描かれている。合格したいという気持ちから思わず，数えてくれた友達からの「おまけ」という言葉に喜んでしまいそうになる主人公の姿と，本当は 18 回しか跳べていないのだからそれはうそになると躊躇する姿には，多くの児童が共感することが予想される。「わたし」と自分自身を重ね合わせながら，正直でいることの大切さを考えることができる教材だと考える。

相手にも自分にも正直でいることは，なかなか容易にできるものではない。また，「うそをついてはいけないと言われているから」「ごまかすと怒られるから」といった受け身の動機ではなく，正直でいることのよい面に目を向けさせたい。本教材を通して，正直でいることの難しさも大切さも感じ取らせたい。

4　本時の計画

（１）ねらい

縄跳びの跳べた回数をごまかさなかった「わたし」の姿を通して，うそやごまかしをせずに生活することのよさについて気付かせ，正直な心で明るく楽しく生活しようとする実践意欲を高める。

（２）指導の構想

①教材提示の工夫

教科書は児童に配付せず，イラストや具体物を教師が提示しながら話を進めていく。状況やそのときの気持ちを確認しながら，話の内容を理解させていく。特に「わたし」が失敗したときの気持ちと「おまけしてあげる」と言われた時の気持ちについて，どんな気持ちなのか，また，似たような経験があるかなどの問いを投げ掛けながら，「わたし」に共感しながら考えさせる。

②課題設定の工夫

子どもたちが主体的に追求したくなる課題を設定したいと考える。おまけを断った「わたし」の姿をどう思うかと問う。子どもたちからは「すごいと思う。」「正直でいい思う。」といった反応が返ってくることが予想される。子どもたちは，正直はいいことだと観念的に理解はしているからである。そこで，「どうして正直にすることがよいことなのかな」と価値に迫る発問を投げ掛ける。教師に改めて聞かれた子どもたちは，正直はどうしていいのか疑問に思うだろう。そこで，本時の課題として設定する。

③実感を伴った理解を促すための工夫

課題を解決する場面では，実感を伴う理解を促すために役割演技を取り入れる。「わたし」に自分を重ねて体感的に考えられるようにする。「わたし」という役を演じることで，児童の考えを引き出し，表現させたい。また，代表児童の演技を見ることで，発言の理由やその気持ちを全体で共有し，深めていきたい。

（３）展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される児童の反応	○留意点　■評価
導入　１０分 １　教材文を読み，課題をつかむ。	Ｔ１　これは何でしょう。 Ｃ１　なわとびカードです。 Ｔ２　そうです。みんなが合格しようとがんばっているなわとびカードです。今日のお話は，このなわとびカードのお話です。 Ｔ３　「わたし」は失敗したんですね。わたしの気持ち分かる? Ｃ２　悲しい。 Ｃ３　くやしい。 Ｃ４　残念。 Ｔ４　どうして悲しいのですか。 Ｃ５　３回も挑戦しているからです。 Ｃ６　練習もがんばってるのにできなかったからです。	○具体物（なわとびカード）を見せて関心を高める。 ○イラストを使って登場人物や場面を整理しながら教材文を読む。実際に跳んで見せる。（ｐ８５，９行目まで） ○跳べなかった「わたし」の気持ちに共感させるため，児童から似たような経験や気持ちを引き出す。

	T５　そうですね。つづきを読みます。 T６　「おまけする」って言ってくれましたね。言われたときの「わたし」の気持ち分かる? C７　うれしい。 C８　ありがとう。 C９　え，だめだよ。 C10　でも，どうしようかなっていう気持ち。 T７　このあと「わたし」どうするのかな？読んでみますね。 T８　おまけを断った「わたし」のことをどう思いますか？ C11　すごいと思います。 T９　どうして？ C12　おまけを断ったからです。 C13　正直にチャレンジしようとしたからです。 T10　正直にすることがいいと思うのですね。どうして正直にすることがいいのでしょう。 C14　え？どうして正直っていいんだろう？	○ｐ．８６，２行目まで読む。 ○「おまけする」と言われたときの「わたし」の気持ちに共感させる。 ○最後まで読む。 ○おまけを断った「わたし」のよさに気付かせ，どうして正直にすることがよいことなのかという学習課題を設定する。
どうしてしょうじきにすることがいいのかな。		
展開　２５分 ２　課題を考えるために「わたし」の役になって断る理由を考える。	T11　もし，「わたし」がおまけをしてもらっていたら，どんな気持ちになったかな。みんなは「わたし」になったつもりで，おまけをしてもらった時どんな気持ちになるか教えてください。 T12　やってみてどう？ C15　もやもやする。 T13　そうなんだ。やっぱりずるはよくないんですね。 T14　「わたし」はどうしたんだっけ？ C16　おまけを断った。 T15　せっかくおまけしてあげるって言ってくれたともみさんに，何て言って理由を伝える？「だって，・・・」の後になんと言ったのか，おまけを断った理由を書きましょう。 T16　それでは，わたしとともみさんがお話している場面を代表の人にやってもらおうと思います。	○教師がともみさんの役をし，児童全員で「わたし」を演じる。おまけをもらった場合，どんな気持ちになるかを感じさせる。 ○ワークシートに，「だって」の続きのセリフを書かせる。 ○ともみさんが「おまけしてあげるよ」と言ったところから始める。 ○教師が，ともみさんの役をすることを告げる。 ○観客の児童へどんなところを見ていると良いか確認する。

例１
ともみ　おまけしてあげるよ。
わたし　え，いいよ。だって，ずるはよくないもん。
ともみ　いいよ。だれも見てないし。
わたし　でも，なんかもやもやするから。
ともみ　そっか。そうだよね。うん。また一緒にがんばろう。

例２ ともみ おまけしてあげるよ。 わたし え，いいよ。だって，ずるして合格してもうれしくないから。 ともみ やってみても合格できないかもしれないよ？ わたし それでも，がんばってみるよ。その方がもっとうれしいから。 ともみ そっか。そうだよね。うん。また一緒にがんばろう。		
	T17 なんて言ってた？ C17 もやもやするって言ってた。 C18 その気持ち分かる？どうしてもやもやするの？。 C19 見られてるかもしれないから。 C20 自分の本当の力じゃないから。 T18 正直におまけを断ってみてどんな気持ちでしたか。 C21 すっきりした気持ち。	○演技を見ていた児童に問い返すことで，共感させ，考えを深めさせる。
終末 １０分 ３ 本時のまとめをする。	T19 では，みんなの考えをまとめましょう。 どうして正直にすることがいいのかな。	
しょうじきにしたほうが，じぶんのきもちがすっきりするから。		
４ 振り返りをする。	T20 じゃあ，次は４級に挑戦です。あと１回で失敗してしまいました。みんなだったらどうしようと思いますか。○をつけましょう。どうしてそう思ったのか理由を書きましょう。 T21 隣の人に書いた理由を言ってみましょう。 C22 おまけをもらっても本当はうれしくないからずるをしない。 C23 本当に合格した方がうれしいから，ずるをしないでがんばりたい。 C24 正直にやったほうがすっきりするからがんばる。 T22 今日は，みんなで，正直について考えました。正直にすると，自分の気持ちがすっきりすることに気付きましたね。これからも正直な気持ちを大切にして，明るく楽しく過ごしましょうね。	○話の続きとして，再びなわとびの場面を設定し，自分だったらおまけをもらうか断るかを考えさせる。 ○「ぜったいにしようと思う」，「やってみようと思う」，「できないかもしれない」など，心情スケールで表したものに○を付けて，理由を書かせる。 ■ごまかさずに正直に取り組もうと振り返っている。

（４）評価

うそやごまかしをせずに生活することのよさについて気付き，正直な心で明るく楽しく生活しようとする実践意欲を高めている（心情スケール，及びワークシート記述での評価）。